カスタマイズ可能な情報収集システムの構築

975120　鈴木　崇寛

(指導教員　速水 治夫 教授)

１．はじめに

名簿の作成など一定のフォーマットで多数の人から情報を収集する事がよくある. この場合, 情報を収集の手段として紙の手渡しやメールにデータを添付するなどの手段があるがこれは情報を収集する側がデータを再入力するため,「収集側に負担がかかる」,「入力ミスが発生する」などの問題がある．それらを解決するためインターネット上で動作する情報収集システムを構築した.

２．システムの概要

本システムは Web ベースの情報収集システムで情報収集者が自由に収集項目を設定できる. 設定した項目は雛型として別のユーザーが利用する事もできる．また，データは CSV(Comma Separated Value)ファイルに蓄積されるため, データが集まった後，それをダウンロードして Excel 等で編集する事も可能である.

本システムは以下のユーザーを想定している.

- 情報収集者：情報を収集する側
- 被情報収集者：情報を収集される側

――情報収集者から見たシステムの流れ―――

①収集項目の設定
②依頼メールの送信
③収集したデータの閲覧
④CSV ファイルのダウンロード

――被情報収集者から見たシステムの流れ――

①依頼メールの到着
②依頼メールに書いてある URL にアクセス
③必要な項目にデータを入力
④収集したデータの閲覧(オプション)

３．システム構成

本システムは５つのモジュールから構成されている.

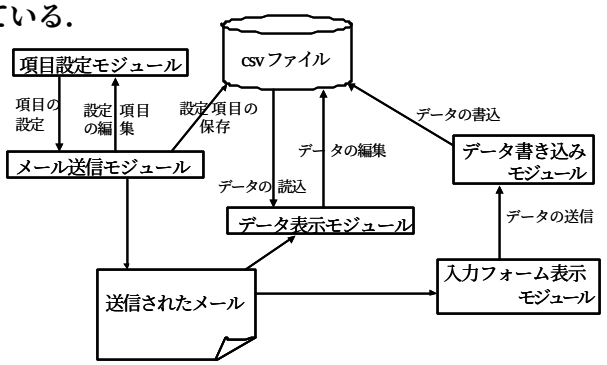

図 1．システム構成図

- 項目設定モジュール
  項目数と情報収集項目を設定
- メール送信モジュール
  情報収集者，被情報収集者にメールを送信
- 入力フォーム表示モジュール
  設定された項目を csv ファイルより読込み入力フォームを作成･表示
- データ書きこみモジュール
  入力フォームで書きこまれたデータを csv ファイルに蓄積
- データ表示モジュール
  蓄積したデータを読み込み，Web 上に表示

４．おわりに

本研究ではカスタマイズ可能な情報収集システムの構築をした．特定のグループ内での使用を目的とした為, ユーザー認証を行っていない. ユーザー認証を導入する事で，不特定ユーザーを対象にすることが出来る．しかし，ユーザー認証の導入によって，匿名性が失われる可能性があるなどの問題がある為, 検討が必要である.